

H30

H31

H32

H33

H34

H35

がん対策基本法

第3期がん対策推進基本計画29年～34年

新学習指導要領・地域の実情に応じたがん教育の実施

第3期がん対策推進基本計画30年～35年

山梨ガン教育
6年計画提案

体育科での授業
実践を推進

特別活動での実
践を推進
外部講師の活用
中間評価と再検
討

体育科の計画の中
にがん教育を明記

体育科での授業を
実施
学校保健年間計画
に明記

特別活動での実践
各校の中間評価

小学校先行実施

全面実施

中学校先行実施

全面実施

高校先行実施

年次進行実施

山梨のがん教育

保健
部局

県教育
委員会

各
学
校



山梨のがん教育は・・・

第3次山梨がん対策推進計画
H30～35 6年間

がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができる。

県の研修

各校の取組

1

イメージする
年間計画に入れる

保健体育科の年間計画に入れる

2

保健体育科の授業実践例
困っていることへの対応

保健体育科の授業実践

3

特別活動で扱った実践例
外部講師の活用

各校の実態に合わせてさらなる実践

中間評価基準

- * 教員ががん教育を意識できたか
- * 学校に負担なく効果的な形を構築できたか



○科目保健については、個人及び社会生活における健康・安全についての総合的な「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の育成を重視する観点から内容等の改善を図る。

その際、**少子高齢化や疾病異常の変化による現代的な課題の解決に関わる内容**や、ライフステージにおける健康の保持増進や回復に関わる内容及び一次予防のみならず、二次予防や三次予防に関する内容を改善するとともに、人々の健康を支える環境づくりに関する内容の充実を図る。

また、科目体育と一層の関連を図り、心身の健康の保持増進や回復とスポーツとの関連等の内容等について改善を図る。

